

第三次山梨県社会資本整備重点計画の策定について

森林環境部、農政部、県土整備部

計画策定の趣旨

限られた財源の中で、効果的・効率的に社会資本整備を実現するためには選択と重点化により社会資本整備の方向性を明らかにすることが重要である。

本県の社会資本整備に関する指針である第二次山梨県社会資本整備重点計画は平成26年度で終了した。

社会資本を巡る状況が大きく変化していることを踏まえ、第三次山梨県社会資本整備重点計画を策定する。

- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催
- ・リニア中央新幹線の開業
- ・大規模自然災害（富士山噴火・豪雪等）
- ・加速する社会資本老朽化

（1）計画の位置づけ

山梨県総合計画及び山梨県強靱化計画の下位計画で、山梨県社会資本整備に関する最上位計画である。

（2）計画の性格と役割

本県における社会資本整備の優先順位の考え方を示すとともに、具体的数値目標を設定し、進捗を管理する。

計画の中で、リニア開業を見据えた社会資本の構想を示す。

また、東京オリンピック・パラリンピック開催までに整備すべき社会資本の全体像を明らかにする。

（3）計画期間

H27年度～H31年度（東京オリンピック・パラリンピックまで）までの5年間。

（4）計画の概要【別紙】

今後の社会資本整備を進める上で早急に対応が必要な課題について、3つの重点分野毎に整理する。

各課題について重点目標を定め、計画期間に実施する主な取組みを整理する。

（5）策定スケジュール

- 6月 外部委員会において骨子説明
- 10月 外部委員会において素案説明
- 11月 計画（素案）パブリックコメント
- 12月 公表

重点目標及び主な取組み（案）

重点分野	課題	重点目標	主な取組み
防災・減災	地震、噴火、豪雨・豪雪等の自然災害に強い基盤づくり	洪水災害・土砂災害からの生命・財産の保護	洪水災害に対する対策の推進 山地災害に対する対策の推進 土砂災害に対する対策の推進 避難路整備の推進 除雪体制の強化
		防災教育等の推進	防災教育の推進 防災訓練の推進
		耐震化の推進	下水道施設耐震化の推進 住宅等耐震化の推進 橋梁耐震化の推進
	緊急時の救援活動を支える基盤づくり	円滑な避難・救援活動への貢献	緊急輸送道路整備の推進 道路防災危険箇所等の解消 道の駅等への防災施設整備の推進
活力	豊かな森林資源の利活用	健全で豊かな森林づくりの推進	森林整備の推進
		林内路網整備の推進	林道・作業道整備の推進
	農業の競争力強化にむけた基盤整備の推進	効率的な農業経営の推進	基幹農道整備の推進
	リニア開業効果の県全域への波及	リニア開業に向けた地域づくりの推進	リニア山梨新駅（仮称）アクセス圏域の拡大 リニア駅周辺の基盤整備の推進
	中心市街地の活性化	市街地のアクセス改善と市街地整備の促進	甲府駅南口駅前広場と平和通りの再整備 良好な市街地環境の創造 都市の骨格となる街路整備の推進
	「国際観光都市」に向けた滞在型観光地づくり	魅力ある国際観光都市整備の推進	観光周遊ネットワークの形成 国際観光周遊ルートの形成 道路案内標識のローマ字表記を英語表記へ改善
		交通渋滞の緩和	渋滞箇所解消の推進
	個性豊かな景観づくり	美しい県土づくりの推進	眺望ポイントの整備の推進 屋外広告物の適正化の推進 市町村の景観計画策定の支援 景観に配慮した公共事業の推進 無電柱化の推進
暮らし	安全安心な生活空間づくり	安全・安心な交通環境の確保	通学路等の整備の推進
	住環境の向上	公共用水域における水環境の保全	生活排水処理施設の計画的な整備の推進
		暮らしやすい環境整備の推進	コンパクトなまちづくりの推進 市町村が行う空き家対策の支援 ユニバーサルデザインに対応した県営住宅の整備の推進

社会資本整備を効果的に進めるための施策

公共事業評価の実施

公共施設の長寿命化の推進

コスト構造改革の実施